

2022年(令和4年)5月18日(水曜日)

海星学院高に感謝状

過去11年間で300万円相当寄付



立野会長(中央)と感謝状が贈られた堺校長(左端)ら

室蘭ユネスコ協会(立野了子会長、54人)の2022年度定時総会が16日、室蘭市中央町の室蘭プリンスホテルで開かれた。長年にわたる募金活動で功績のあった海星学院高校(高砂町)に感謝状を贈呈した。

(奥野浩章)

室蘭ユネスコ協会総会

過去2年はコロナ禍による書面決議で、3年ぶりの開催となった。ユネスコスクール加盟校の海星学院高は、毎年3千〜4千枚の書き損じはがきを回収するなどの活動を行い、これまで

の11年間で約300万円相当の募金があった。総会の席上で、立野会長が堺俊光校長へ感謝状を贈った。

21年度の募金活動と支援状況が報告された。海星学院高から現金、未使用切手、

書き損じはがきなどで23万3213円、同協会が市内各地に設置するカキボ駅(書き損じはがき回収と募金の駅)分が9万67円で、計32万3280円だった。

22年度事業では、ユネスコ・ユースフォーラム開催、海外スタディツアー派遣支援事業の推進、世界寺子

屋運動・街頭募金の実施などを決めた。

任期満了に伴う役員改選では、立野会長を再任した。来賓の針ヶ谷一義胆振教育局長と伊藤博明室蘭市教育長、協会顧問の滝口信喜、赤根広介両道議が協会の活動へエールを送った。立野会長は「協会は今年で設立51年目を迎える。国際教育活動の成果が出てくる時期待っており、次のステップに向けて行動していきたい」と話していた。